



ハードウェア リファレンス ガイド

HP EliteOne 1000 G2 All-in-One Business PC

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

Thunderbolt および Thunderbolt ロゴは、米国 Intel Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましても万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2018年6月

製品番号：L28134-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用するによって、お客様は HP 使用許諾契約 (EULA) の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品 (付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア) を 14 日以内に返品し、販売店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

このガイドについて

このガイドでは、このコンピューターの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

-
- ⚠ **警告** : 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意** : 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📄 **重要** : 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記** : 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント** : タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

目次


1 製品の特長	1
概要	1
ベースユニットの上面の各部	1
ベースユニットの側面の各部	2
ベースユニットの背面の各部	2
モニター前面の各部（一部の製品のみ）	3
Web カメラの各部	3
赤外線（IR）Web カメラ（オプション）	3
FHD（Full High Definition）Web カメラ（オプション）	4
シリアル番号および製品番号の記載位置	4
2 セットアップ	5
モニター本体の取り付け	5
電源への接続	9
モニター本体検出の警告の有効化	9
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	10
モニター本体の位置の調整	11
2 番目のモニターの接続	12
Web カメラの使用	13
Web カメラの操作	13
[Windows Hello]の設定	13
無線キーボードおよびマウスの同期	14
3 ハードウェアの修理およびアップグレード	15
警告および注意	15
追加情報	15
ベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け	16
モニター本体の取り外しおよび取り付け	18
内部部品の位置	22
メモリの取り外しおよび取り付け	23
メモリ モジュールの仕様	23
メモリ モジュールの取り付け位置	24
メモリ モジュールの取り付け	24
RTC（リアルタイムクロック）電池の交換	26

ハードディスクドライブの交換	27
M.2 SSD の取り外しおよび取り付け	29
Web カメラの交換または取り付け	32
付録 A 静電気対策	35
静電気による損傷の防止	35
アース（接地）の方法	35
付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	36
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	36
運搬時の注意	37
付録 C ユーザー サポート	38
サポートされている支援技術	38
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	38
索引	39

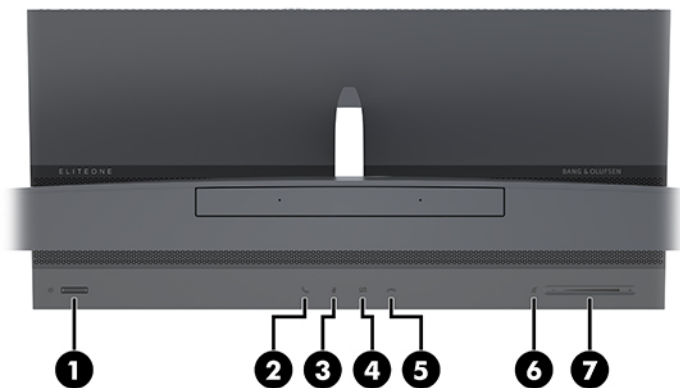
1 製品の特長

概要



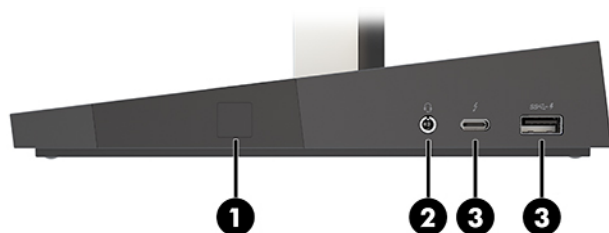
 **注記:** この製品の最新のマニュアルについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。[製品から探す]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

ベースユニットの上面の各部



名称	
(1) 電源ボタン	(5) 通話終了ボタン
(2) 通話ボタン	(6) スピーカーのミュート (消音) ボタン
(3) マイクのミュート (消音) ボタン	(7) 音量スライダー
(4) Web カメラのミュート (消音) ボタン	

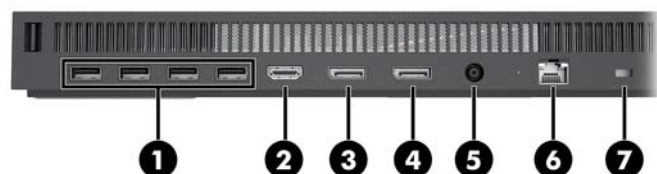
ベースユニットの側面の各部



名称

- | | |
|---|---|
| (1) 指紋認証システム | (3) USB Type-C Thunderbolt™ポート (HP スリープおよび充電機能付き) |
| (2) オーディオ出力 (ヘッドフォン) / オーディオ入力 (マイク) コンポ コネクタ | (4) USB SuperSpeed ポート (HP スリープおよび充電機能付き) |

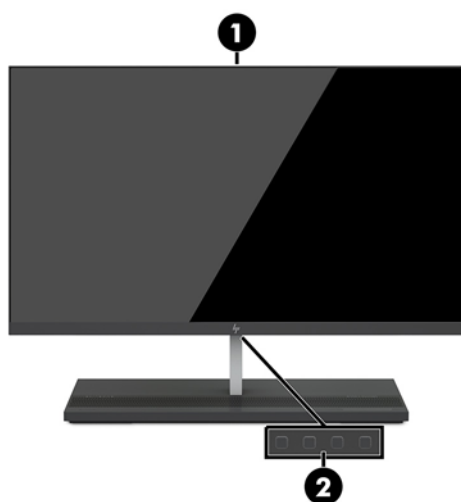
ベースユニットの背面の各部



名称

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| (1) USB SuperSpeed Plus ポート (×4) | (5) 電源コネクタ |
| (2) HDMI 出力端子 | (6) RJ-45 (ネットワーク) コネクタ |
| (3) DisplayPort 出力コネクタ | (7) セキュリティ ロック ケーブル用スロット |
| (4) DisplayPort 入力コネクタ | |

モニター前面の各部（一部の製品のみ）

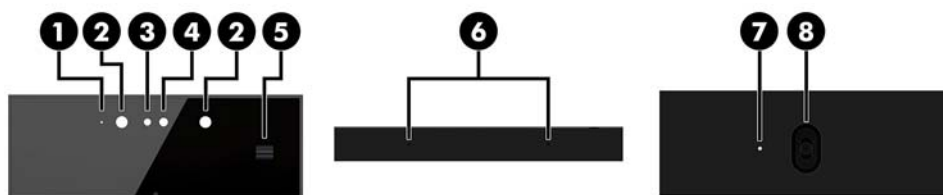


名称

- (1) Web カメラ（オプション）
- (2) オンスクリーンディスプレイ ボタン（画面調整用）

Web カメラの各部

赤外線（IR）Web カメラ（オプション）



名称

正面図

- (1) Web カメラランプ
- (2) 赤外線ランプ
- (3) FHD（Full High Definition）Web カメラ
- (4) 赤外線 Web カメラ
- (5) 背面 Web カメラ調整ホイール

上面図

- (6) デジタルマイク

背面図

- (7) Web カメラランプ
- (8) FHD Web カメラ

FHD (Full High Definition) Web カメラ (オプション)



名称

正面図

(1) Web カメラ ランプ

(2) FHD Web カメラ

上面図

(3) デジタル マイク

シリアル番号および製品番号の記載位置

各コンピューターの外側には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。

コンピューターのベースユニットの番号は、ベースユニットの底面に記載されています。




2 セットアップ

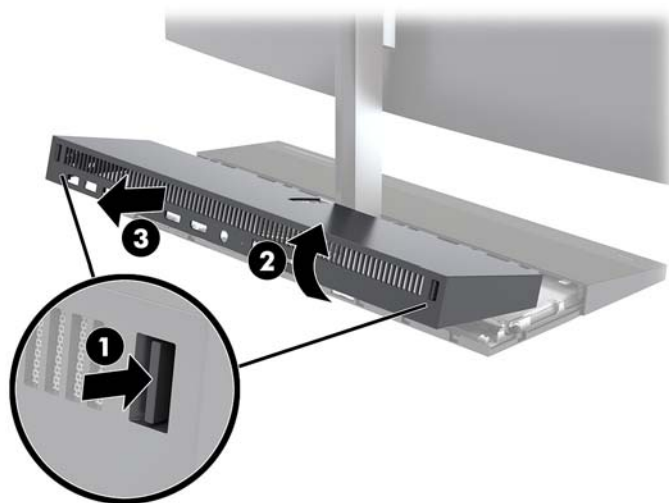
モニター本体の取り付け

モニター本体はスタンドアロンのコンピューターベースユニットに取り付けられます。また、モニター本体を取り外して別のモニターと交換することも可能です。

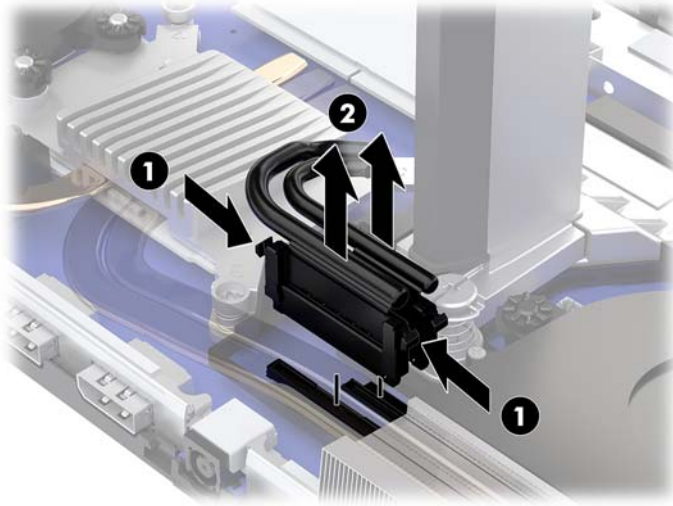
1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切った後、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

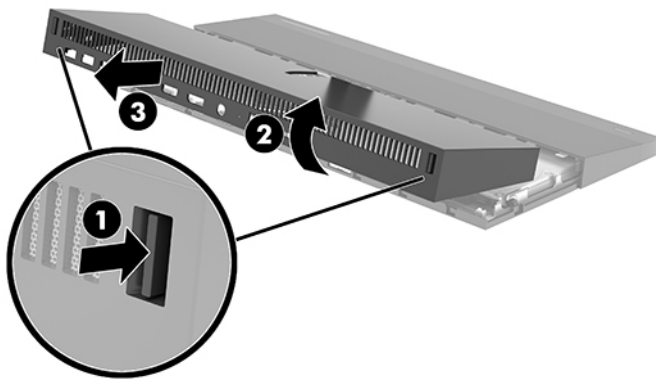
4. 別のコンピューターに取り付けられているモニター本体にアクセスするためにリアアクセスカバーを取り外すには、ベースユニットの背面にある 2 つのリリースボタンを押しながら (1)、カバーの後部を上に戻します (2)。次に、カバーを後方にスライドさせてベースユニットから取り外します (3)。



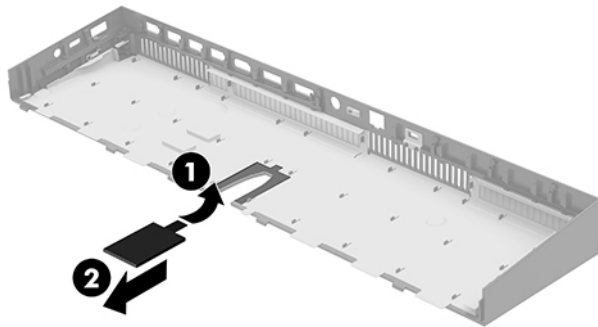
5. システムボードに接続されている2本のモニターケーブルを、それぞれケーブルコネクタの両端を内側にしっかりと押しながら (1) 引き上げて、システムボードから取り外します (2)。




6. これからモニター本体を取り付けるコンピュータからリアアクセスカバーを取り外すには、ベースユニットの背面にある2つのリリースボタンを押し (1)、同時にカバーの後部を上に戻させます (2)。次に、カバーを後方にスライドさせてコンピュータから取り外します (3)。

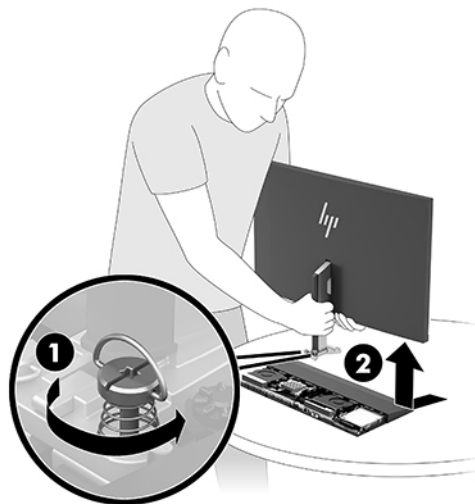


7. カバーを裏面が上になるように置きます。ブランクのタブを持ち上げ、ブランクをスライドさせてリアアクセスカバーから取り外します。




8. モニター本体の支柱の基部にある2本の固定用ネジを緩めます(1)。一方の手でモニター本体の底部を前からしっかり持ち、もう一方の手でモニター本体を後方にスライドさせて小さい金属製の固定用タブから外した後、モニターを持ち上げてベースユニットから取り外します(2)。

 **重要:** モニター本体は重いものです。モニター本体を取り外すときはしっかりと持つようにし、落として破損させないようにしてください。

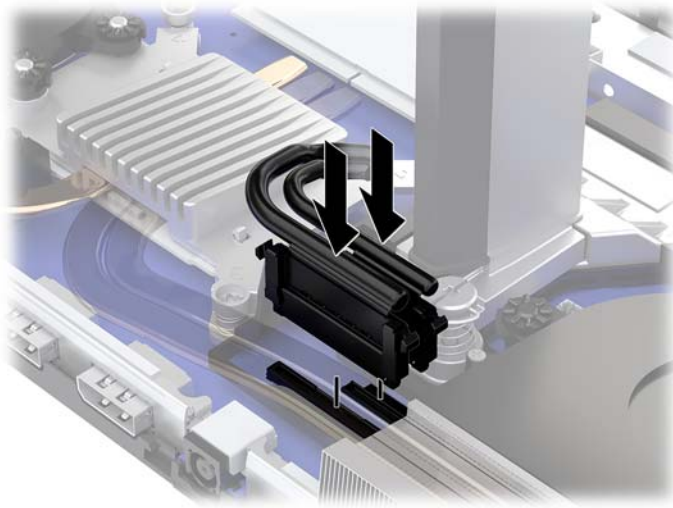


9. 新しいモニター本体や別のコンピューターから取り外したモニター本体を取り付けるには、一方の手でモニター本体の底部を前から持ち、モニター本体の支柱の基部をベースユニットのブラケットに載せたら、もう一方の手でモニターを前方にスライドさせます(1)。次に、モニター本体の支柱をベースユニットに固定するための2本の固定用ネジを締めます(2)。


 **重要:** モニター本体は重いものです。モニター本体を取り付けなおすときはしっかりと持つようにし、落として破損させないようにしてください。

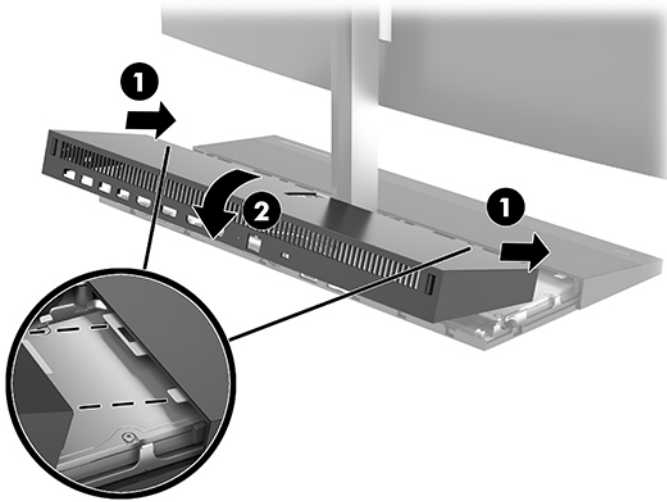


10. 2本のモニターケーブルをシステムボードのコネクタに接続します。



11. リアアクセスカバーを取り付けなおすには、リアアクセスカバーの前部にあるタブをフロントカバーの背面にあるスロットに差し込み (1)、リアアクセスカバーの後部を押し下げます (2)。

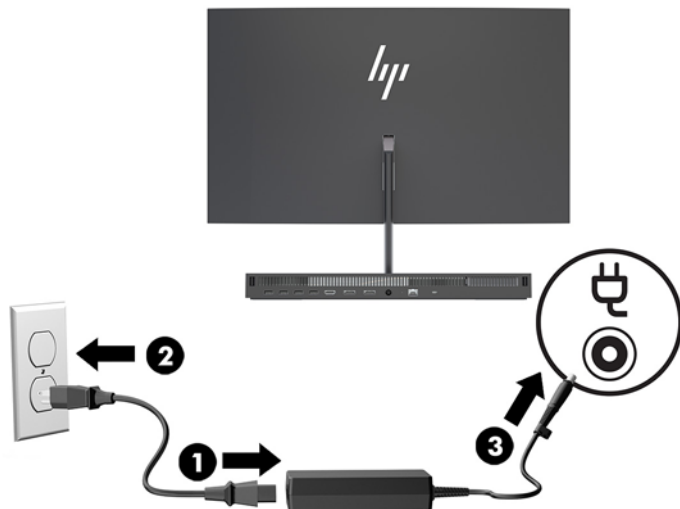
 **注記**：カバーを取り付けなおすときにケーブルが損傷しないように、すべてのケーブルが正しく配線されていることを確認します。



12. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

電源への接続

電源に接続するには、電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し（1）、もう一方の端をアース（接地）された電源コンセントに接続して（2）、外部電源アダプターをコンピューターのベースユニットのDC電源コードコネクタに接続します（3）。



モニター本体検出の警告の有効化

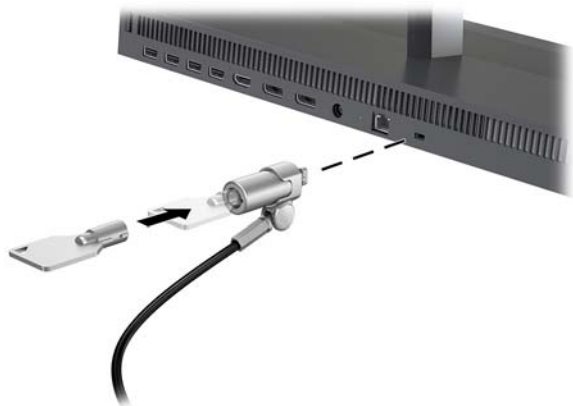
この警告は、モニター本体のケーブルが完全に接続されていない場合に表示されます。モニター本体を取り付けているシステムでこの警告を有効にすることをおすすめします。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **F10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
2. **【詳細設定】** (Advanced) → **【内蔵デバイス】** (Built-In Devices) の順に選択します。
3. **【パネルなし構成を許可する】** (Allow No Panel configuration) を選択します。
4. **【メイン】** (Main) → **【変更を保存して終了】** (Save Changes and Exit) の順に選択して設定内容を保存します。

変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。


セキュリティロックケーブルの取り付け

セキュリティロックケーブルは、鍵でロックするワイヤケーブル付きのデバイスです。ケーブルの一方の端をデスク（またはその他の固定物）に取り付け、もう一方の端をコンピューターのベースユニットのセキュリティロックケーブル用スロットに取り付けます。鍵をかけて、セキュリティロックケーブルを固定します。




モニター本体の位置の調整

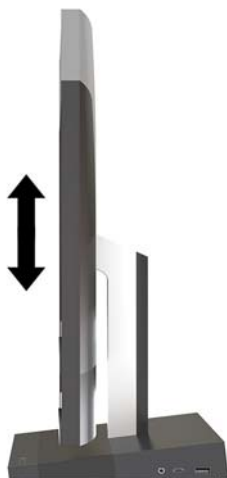
モニター本体を傾けて、見やすい位置に設定します。

 **注記**：23.8 インチ、27 インチ、および 34 インチのモニター本体は後ろに傾きます。前に傾くのは 23.8 インチおよび 27 インチのモニター本体だけです。34 インチのモニター本体は前に傾きません。



モニター本体の高さを調整して、見やすい位置に設定します。

 **注記**：高さを調整できるのは 23.8 インチのモニター本体だけです。27 インチおよび 34 インチのモニター本体は高さを調整できません。



2 番目のモニターの接続

コンピューター背面の DisplayPort および HDMI 出力端子を使用すると、2 番目のモニターをコンピューターに接続できます。

以下のどちらかの構成で最大 2 台のモニターを接続できます。

- 2 台のモニターを DisplayPort にデージーチェーン接続
- DisplayPort および HDMI 出力端子にモニターを 1 台ずつ接続

追加するモニターに DisplayPort または HDMI 入力端子が装備されている場合は、ビデオアダプターは必要ありません。追加するモニターに DisplayPort または HDMI 入力端子が装備されていない場合は、お使いの構成に適したビデオアダプターを別途用意する必要があります。

DisplayPort アダプター、HDMI アダプター、およびビデオケーブルは別売です。HP では、以下のアダプターを提供しています。

 **注記：** 取り扱い製品は国や地域によって異なります。

- DisplayPort - VGA アダプター
- DisplayPort - DVI アダプター
- HDMI - VGA アダプター
- HDMI - DVI アダプター

モニターを接続するには、以下の操作を行います。


1. コンピューターおよびコンピューターに接続するモニターの電源を切ります。
2. モニターに DisplayPort が備わっている場合は、コンピューター背面の DisplayPort とモニターの DisplayPort を DisplayPort ケーブルで直接接続します。

モニターに HDMI 入力端子が備わっている場合は、コンピューター背面の HDMI 出力端子とモニターの HDMI 入力端子を HDMI ケーブルで直接接続します。

3. モニターに DisplayPort が装備されていない場合は、DisplayPort ビデオアダプターをコンピューターの DisplayPort に接続します。次に、アダプターとモニターの間を構成等に応じて VGA または DVI ケーブルで接続します。

モニターに HDMI 入力端子が装備されていない場合は、HDMI ビデオアダプターをコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。次に、アダプターとモニターの間を構成等に応じて VGA または DVI ケーブルで接続します。

4. コンピューターおよびモニターの電源を入れます。

 **注記：** グラフィックスカードのソフトウェアまたは Windows® の [画面の設定] を使用して、ディスプレイにコンピューターのディスプレイと同じ画面を表示するか、コンピューターディスプレイの画面を広げるように設定できます。

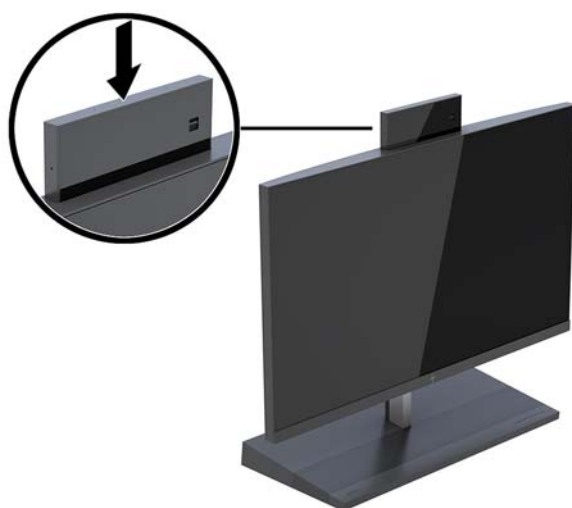
Web カメラの使用

以下の方法でモニターの Web カメラを使用できます。

- オンライン ビデオ会議のストリーミング
- インスタント メッセージの送信および受信
- ミーティングのスケジュール設定
- 会話中のセキュリティの維持

Web カメラの操作

- Web カメラを使用可能な状態にするには、カメラを押し下げてロックを解除します。
- Web カメラの使用を終了するには、ロックされるまでカメラを押し下げます。



[Windows Hello]の設定

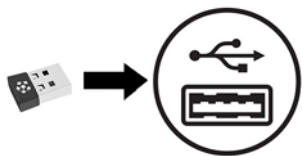
コンピューターに Windows 10 オペレーティング システムがインストールされている場合は、以下の手順に沿って[Windows Hello]の顔認識を設定します。

1. **[スタート]ボタン→[設定]→[アカウント]→[サインイン オプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で画面の説明に沿って操作し、パスワードおよび 4 桁の PIN の両方を追加してから、指紋または顔の ID を登録します。

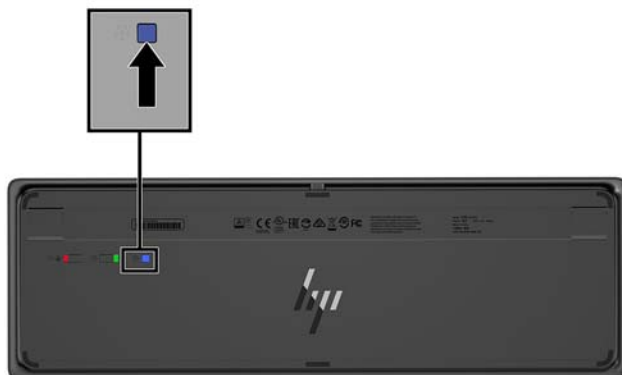
無線キーボードおよびマウスの同期

無線キーボードおよびマウスはモデルにより別売です。マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。マウスおよびキーボードが同期されない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。

1. トランシーバーをコンピューターの USB ポートに差し込みます。




2. トランシーバーの 30 cm 以内の範囲にキーボードを置きます。キーボードの底面にある接続ボタンを押してから、キーボードのキーを押します。



3. トランシーバーの 30 cm 以内の範囲にマウスを置きます。マウスの底面にある接続ボタンを押してから、マウスをクリックします。



 **注記：** それでもマウスおよびキーボードが機能しない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

3 ハードウェアの修理およびアップグレード

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- カバーやパネル等を取り外す前に、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。内部には通電する部品が含まれています。
- 作業を行う前に、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 装置の電源を入れなおす前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドでは、正しい作業環境の整え方について説明し、快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドラインを提供しています。また、電気的および物理的安全基準に関する情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。

📄 重要： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[35 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。


追加情報

ハードウェア コンポーネントの取り外しと取り付け、[HP Computer Setup]、およびトラブルシューティングについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/support/> に掲載されている、お使いのモデルのコンピューターの『Maintenance and Service Guide』(メンテナンスおよびサービスガイド、英語版のみ)を参照してください。

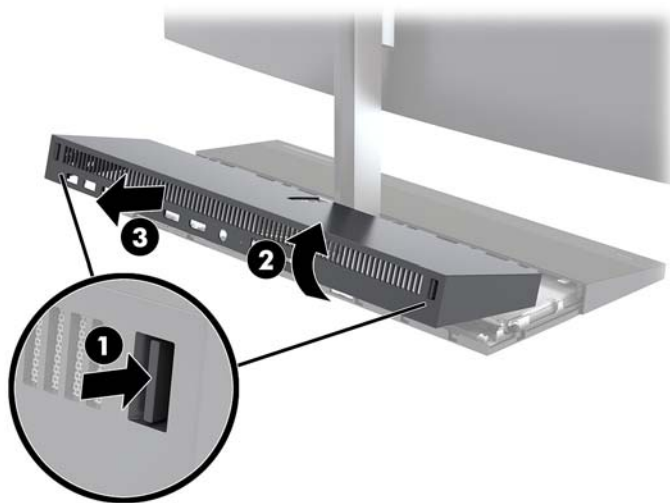
ベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け

コンピューターの内部部品にアクセスするには、ベースユニットのアクセスカバーを取り外す必要があります。

1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。


 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

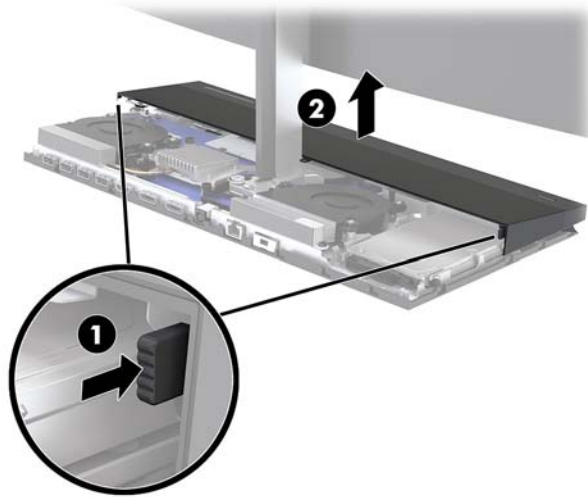
4. リアアクセスカバーを取り外すには、ベースユニットの背面にある 2 つのリリースボタンを押し (1)、同時にカバーの後部を上回転させます (2)。次に、カバーを後方にスライドさせてベースユニットから取り外します (3)。



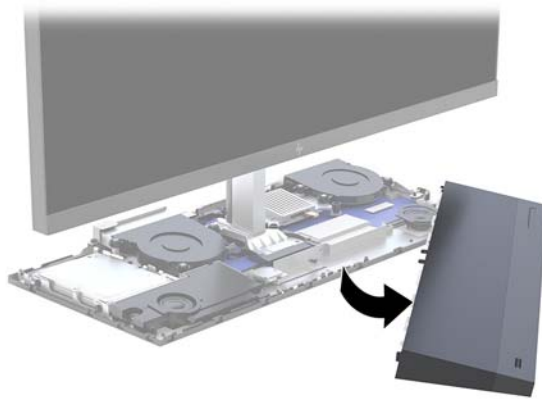
5. リアアクセスカバーを取り外した後、フロントアクセスカバーを取り外すには、以下の操作を行います。

- a. フロントカバーの背面にある2つのリリースボタンを押し (1)、カバーをまっすぐ上に持ち上げて取り外します (2)。

 **注記：**フロントカバーの右側にはケーブルが接続されています。カバーを引き上げすぎてケーブルが抜けないように注意してください。



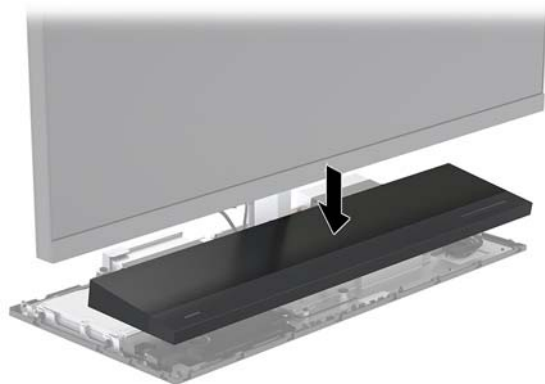
- b. カバーの右側に取り付けられているケーブルが抜けないように注意しながら、カバーの左側を回転させてベースユニットから取り外します。




これで、コンピューターの部品を点検できます。

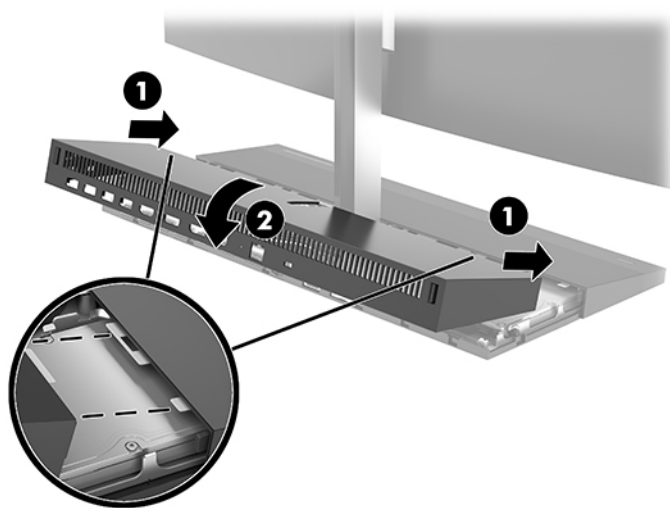
アクセスカバーを取り付けなおすには、以下の操作を行います。

1. フロントアクセスカバーを取り付けなおすには、カバーをモニター本体の位置に合わせ、カバーをまっすぐ下に押し下げてベースユニットの所定の位置にカチッと収まるようにします。



2. リアアクセスカバーを取り付けなおすには、リアアクセスカバーの前部にあるタブをフロントカバーの背面にあるスロットに差し込み (1)、リアアクセスカバーの後部を押し下げます (2)。


 **注記**：カバーを取り付けなおすときにケーブルが損傷しないように、すべてのケーブルが正しく配線されていることを確認します。




3. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

モニター本体の取り外しおよび取り付け

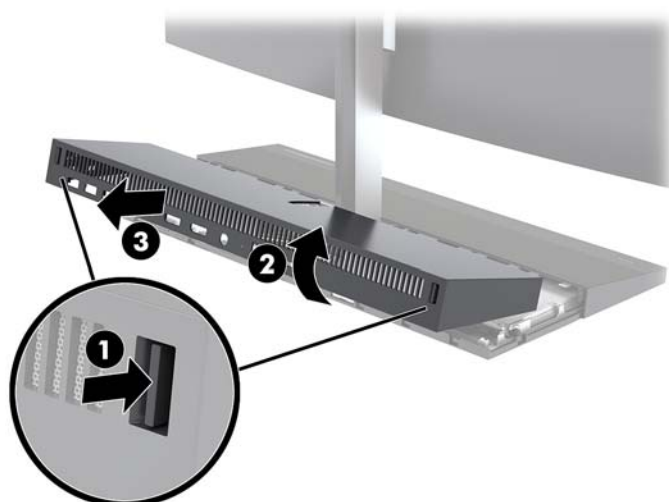
モニター本体を取り外して別のモニターと交換できます。

 **注記**：交換用のモニターには Web カメラは含まれていません。現在お使いのモニターに Web カメラが取り付けられている場合は、必ず取り外して保管してください。[32 ページの Web カメラの交換または取り付け](#)を参照してください。

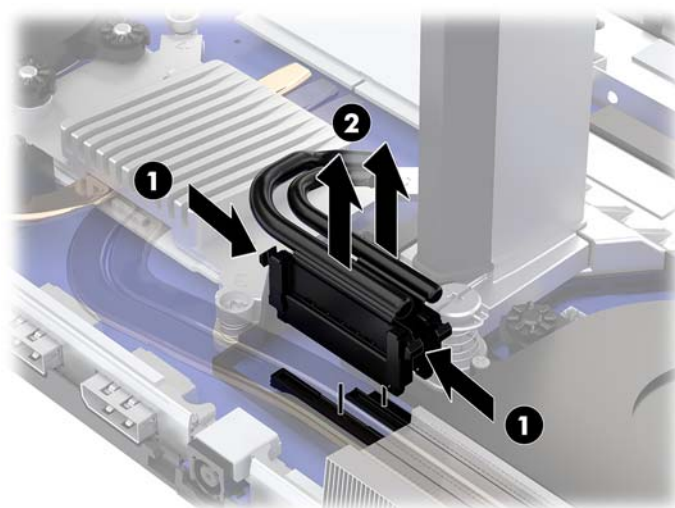
1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切つてから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。


4. リアアクセスカバーを取り外すには、ベースユニットの背面にある 2 つのリリースボタンを押し (1)、同時にカバーの後部を上回転させます (2)。次に、カバーを後方にスライドさせてベースユニットから取り外します (3)。

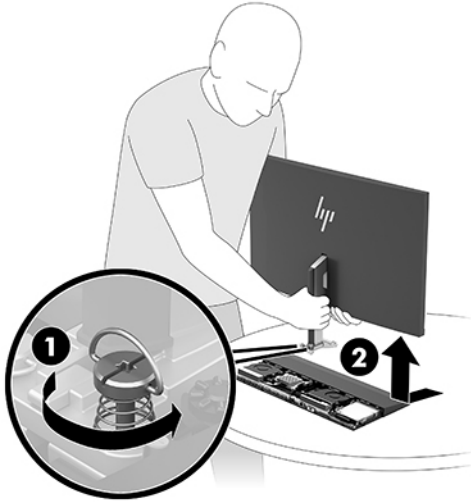


5. システムボードに接続されている 2 本のモニターケーブルを、それぞれケーブルコネクタの両端を内側にしっかりと押しながら (1) 引き上げて、システムボードから取り外します (2)。




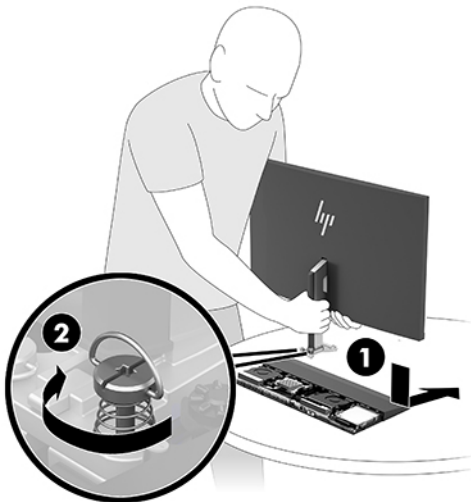
6. モニター本体の支柱の基部にある2本の固定用ネジを緩めます(1)。一方の手でモニター本体の底部を前からしっかり持ち、もう一方の手でモニター本体を後方にスライドさせて小さい金属製の固定用タブから外した後、モニターを持ち上げてベースユニットから取り外します(2)。

 **重要**：モニター本体は重いものです。モニター本体を取り外すときはしっかりと持つようにし、落として破損させないようにしてください。

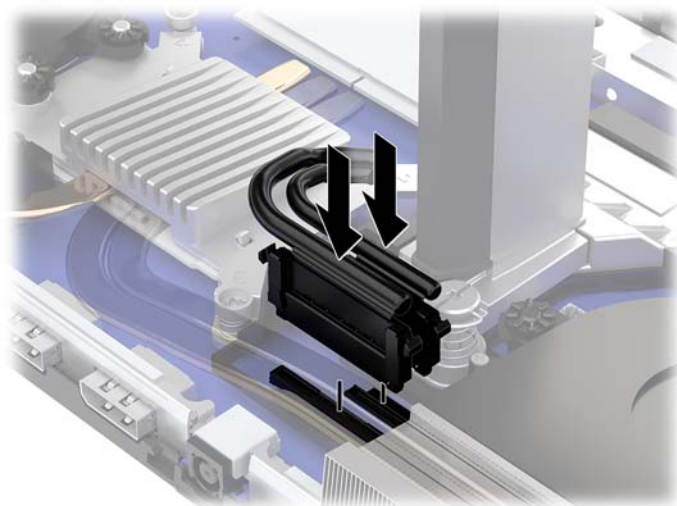


7. モニター本体を取り付けるには、一方の手でモニター本体の底部を前から持ち、モニター本体の支柱の基部をベースユニットのブラケットに載せたら、もう一方の手でモニターを前方にスライドさせます(1)。次に、モニター本体の支柱をベースユニットに固定するための2本の固定用ネジを締めます(2)。


 **重要**：モニター本体は重いものです。モニター本体を取り付けなおすときはしっかりと持つようにし、落として破損させないようにしてください。

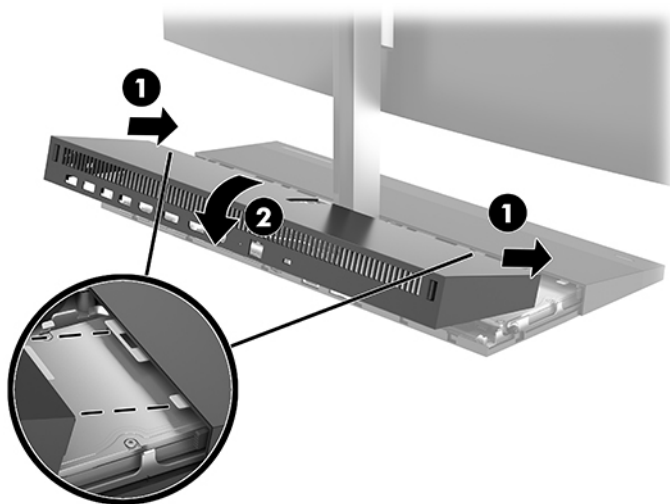


8. 2本のモニターケーブルをシステムボードのコネクタに接続します。



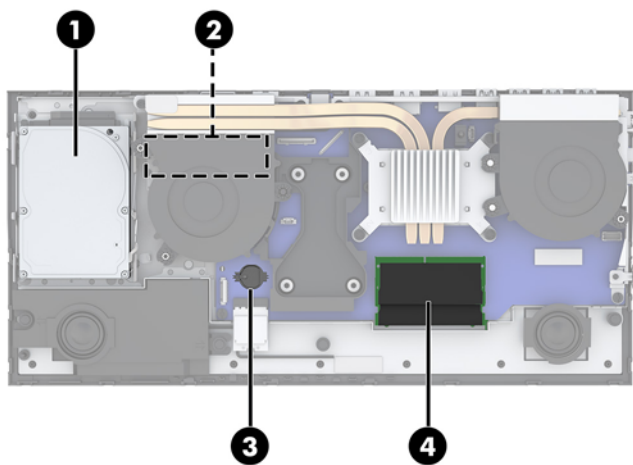
9. リアアクセスカバーを取り付けなおすには、リアアクセスカバーの前部にあるタブをフロントカバーの背面にあるスロットに差し込み (1)、リアアクセスカバーの後部を押し下げます (2)。

 **注記:** カバーを取り付けなおすときにケーブルが損傷しないように、すべてのケーブルが正しく配線されていることを確認します。



10. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

内部部品の位置



名称

(1) ハードディスクドライブ

(3) RTC 電池

(2) M.2 SSD (ファンの下にあります)

(4) メモリ モジュール

メモリの取り外しおよび取り付け

システムボード上にあるメモリスロットには、業界標準のスマートアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を2つまで取り付けることができます。これらのメモリスロットには、少なくとも1つのメモリモジュールが標準装備されています。

メモリモジュールの仕様

システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たすメモリモジュールを使用することをおすすめします。

項目	仕様
メモリモジュール	1.2 ボルト DDR4-SDRAM メモリモジュール
準拠	アンバッファード非 ECC DDR4-2400 MHz 準拠
ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 260 ピン
サポート	CAS レイテンシ (DDR4 - 2400 MHz、15-15-15 タイミング) をサポートしている
スロット	2
最大メモリ	1 メモリスロットあたり 16 GB、合計 32 GB
サポート対象	4 ギガビットおよび 8 ギガビットの非 ECC メモリテクノロジー片面および両面 SODIMM
注	サポートされない SODIMM メモリが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。x8 および x16 の DDR デバイスで構成された SODIMM がサポートされます。x4 SDRAM で構成されたメモリモジュールはサポートされません。

HP では、このコンピューター用のアップグレードメモリを提供しています。サポートされていない他社のメモリとの互換性の問題を回避するために、HP が提供するメモリを購入することをおすすめします。

メモリ モジュールの取り付け位置

メモリ モジュールのチャンネルの位置については、以下の表を参照してください。

位置	システム ボード上の表記	チャンネル
下部ソケット	SODIMM1	チャンネル B
上部ソケット	SODIMM3	チャンネル A


取り付けられているメモリ モジュールに応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。

- 1つのチャンネルのスロットにのみメモリ モジュールが取り付けられている場合、システムはシングル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールの合計メモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールの合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールのメモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールのメモリ容量が異なる場合、システムはフレックス モードで動作します。フレックス モードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアル チャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングル チャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネル A に割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いメモリ モジュールによって決定されます。

メモリ モジュールの取り付け

システム ボードには2つのメモリ ソケットがあります。メモリ モジュールを着脱するには、以下の操作を行います。

1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要:** メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステム ボードを完全に破損するおそれがあります。


4. ベースユニットのリア アクセス パネルおよびフロント アクセス パネルを取り外します。[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
5. [22 ページの内部部品の位置](#)を参照して、システム ボード上のメモリ モジュールの位置を確認します。

6. メモリ モジュールを取り出すには、メモリ モジュールの両側にある 2 つのラッチを外側に押し (1)、ソケットからメモリ モジュールを引き出します (2)。



7. メモリ モジュールを取り付けるには、メモリ モジュールを約 30°の角度でソケットに差し込み (1)、ラッチで正しい位置に固定されるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。



 **注記：**メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールの切り込みとメモリスロットのタブを合わせます。

8. ベースユニットのフロントアクセスパネルおよびリアアクセスパネルを取り付けなおします。[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
9. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。コンピューターの電源を入れたときに、増設したメモリが自動的に認識されます。

RTC（リアルタイムクロック）電池の交換

お使いのコンピューターに付属の RTC 電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。コンピューターに付属の電池は、3V のボタン型リチウム電池です。

⚠ 警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。

📖 重要： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

📖 注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合にのみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

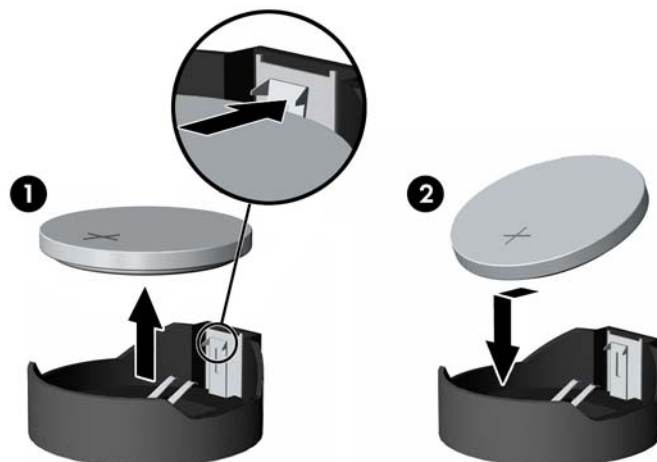
システムボード上の電池の位置については、[22 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

📖 重要： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

4. ベースユニットのリアアクセスパネルおよびフロントアクセスパネルを取り外します。
[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。

5. 電池をホルダーから取り出すために、電池の一方の端の上にある留め金を押し上げます。電池が持ち上がったら、ホルダーから取り出します (1)。
6. 新しい電池を装着するには、交換する電池を、[+]と書かれている面を上にしてホルダーにスライドさせて装着します。電池の一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます (2)。




7. ベースユニットのフロントアクセスパネルおよびリアアクセスパネルを取り付けなおします。[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
8. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
9. [HP Computer Setup]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなおします。

ハードディスクドライブの交換

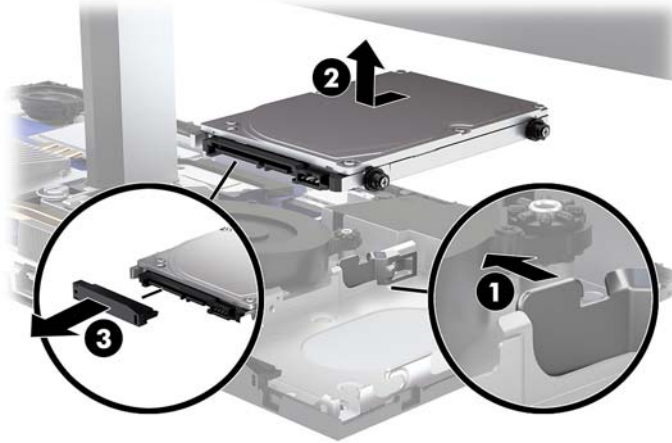
システムボード上のハードディスクドライブの位置については、[22 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

4. ベースユニットのリアアクセスパネルおよびフロントアクセスパネルを取り外します。[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。

5. ハードディスクドライブの前方にあるリリースレバーを外側に引きます (1)。ドライブを後方にスライドさせ、ドライブが止まったところで、ドライブを持ち上げてドライブベイから取り出します (2)。次に、ハードディスクドライブ背面からケーブルを取り外します (3)。



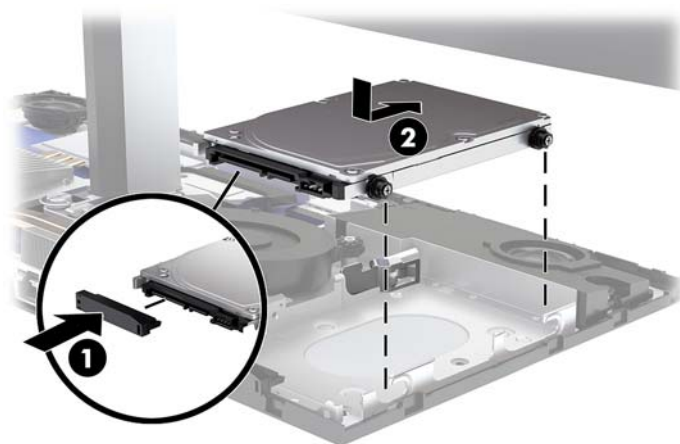
6. 取り外したハードディスクドライブの両側から 4 本の取り付けネジを外します。



- 古いドライブから外した4本の取り付けネジを、新しいハードディスクドライブの両側に取り付けます。



- ハードディスクドライブ背面にケーブルを接続します(1)。次に、ドライブの取り付けネジの位置をドライブベイの両側にあるJ字型のスロットの位置に合わせ、ドライブをドライブベイに押し込みます。正しい位置に固定されるまでドライブを前方にスライドさせます(2)。




- ベースユニットのフロントアクセスパネルおよびリアアクセスパネルを取り付けなおします。[16ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
- 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

M.2 SSD の取り外しおよび取り付け

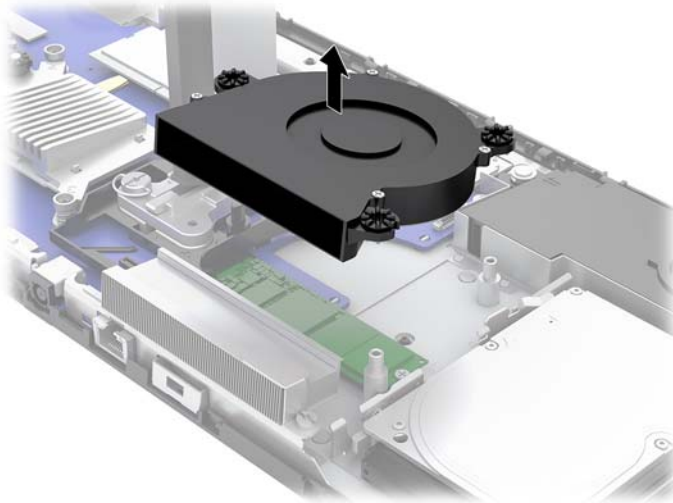
システムボード上のM.2 SSDの位置については、[22ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

- USBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
- オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切った後、外付けデバイスの電源もすべて切ります。

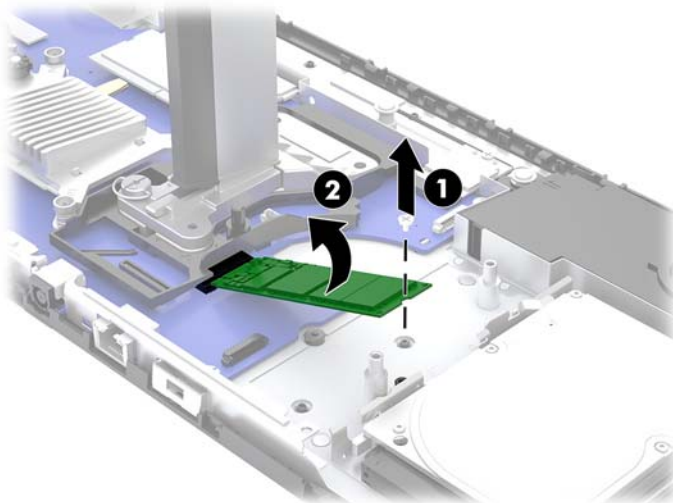
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

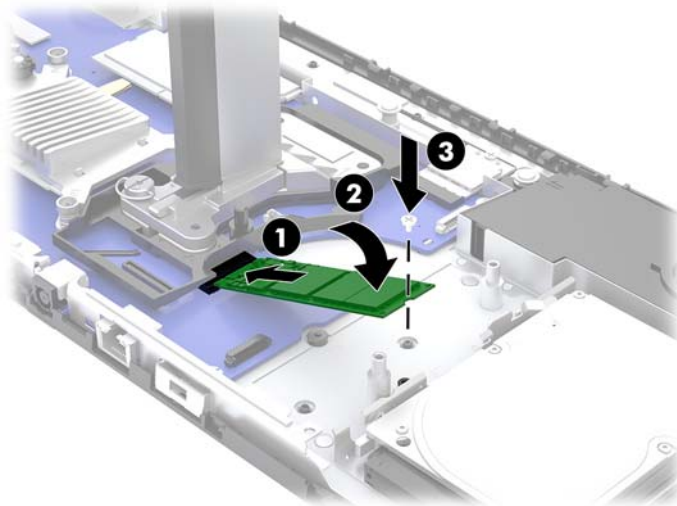
4. ベースユニットのリアアクセスパネルおよびフロントアクセスパネルを取り外します。
[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
5. M.2 SSD は、モニター本体のマウントとハードディスクドライブベイの間にあるファンの下にあります。ファンをまっすぐ上に引き上げ、システムボードの支柱から離すようにして取り外します。ファンケーブルを外す必要はありません。



6. M.2 SSD を取り外すには、SSD をシステムボードに固定しているネジを取り外し (1)、SSD をスライドさせてシステムボードのコネクタから取り外します (2)。



7. M.2 SSD を取り付けるには、SSD のコネクタの端をスライドさせてシステム ボードのコネクタに差し込み (1)、SSD のもう一方の端を押し下げて (2)、SSD をネジでシステム ボードに固定します (3)。



8. ファンをシステム ボードの支柱に押し下げて、ファンを取り付けなおします。




9. ベースユニットのフロントアクセスパネルおよびリアアクセスパネルを取り付けなおします。[16 ページのベースユニットのアクセスカバーの取り外しおよび取り付け](#)を参照してください。
10. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

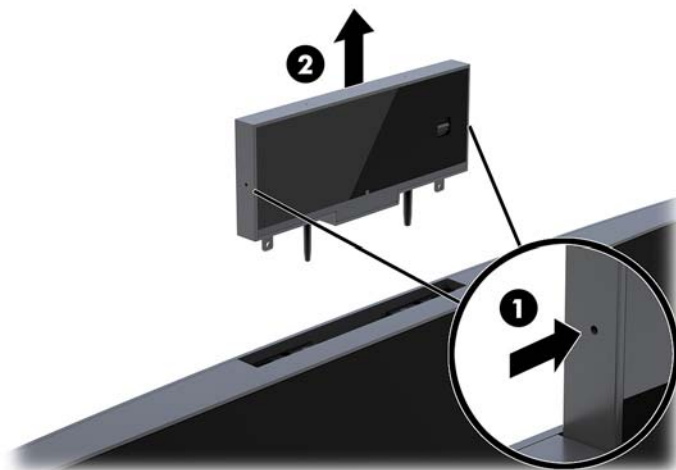
Web カメラの交換または取り付け

Web カメラを交換するには、以下の操作を行います。

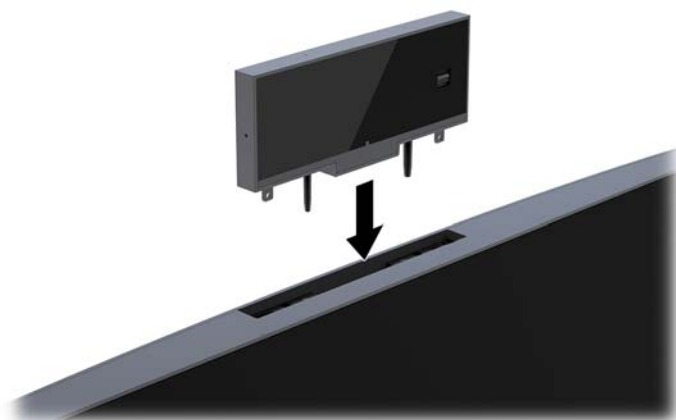
1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要**：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

4. Web カメラの両側にあるリリース用の穴にクリップを差し込み (1)、内部のラッチの固定を解除して、Web カメラをモニター本体から引き出します (2)。




5. 新しい Web カメラをモニター本体の Web カメラ用スロットに挿入し、内部のラッチで固定されるまで Web カメラを押し下げます。



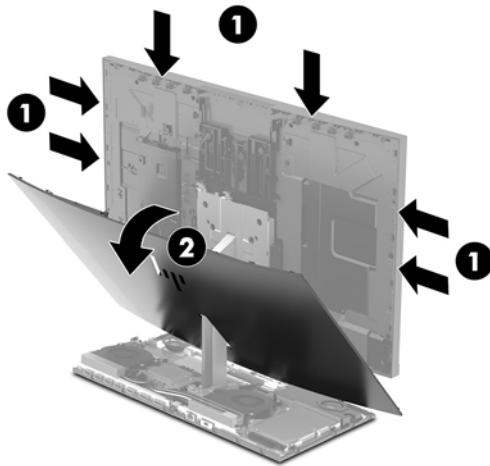
6. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

モニター本体の Web カメラ用スロットに Web カメラ ブランクが取り付けられている場合に Web カメラを取り付けるには、以下の操作を行います。

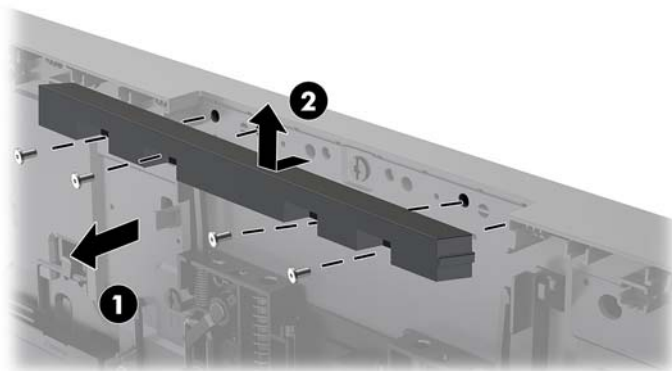
1. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **重要：**システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。

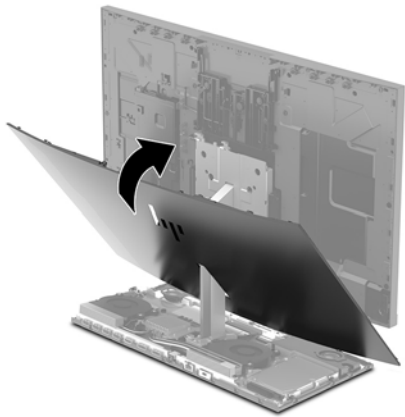
4. モニター本体のリアパネルの上部にある Web カメラ用スロットのあたりを持ち、リアパネルとディスプレイ本体を接続しているポイント (1) を外したら、リアパネルをスタンドの支柱に沿って下にすべさせます (2)。



5. Web カメラ ブランクからネジを外し (1)、ブランクを後方へスライドさせてモニター本体から取り外します (2)。



6. リアパネルをモニター本体に、カチッと音がするまで押し込みます。



7. 新しい Web カメラをモニター本体の Web カメラ用スロットに挿入し、内部のラッチで固定されるまで Web カメラを押し下げます。
8. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアース（接地）を行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面およびモニターの上部に、少なくとも 10 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどちらかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- 通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールするか有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。

- コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
- 画面は、清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。
- コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。
- ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーを画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、コンピューターが損傷するおそれがあります。


運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**コンピューター内部のボードについては、それぞれのスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。


6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせる機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

記号/数字

2 番目のモニターの接続 12

F

FHD Web カメラの各部 4

I

IR Web カメラの各部 3

M

M.2 SSD

取り付け 29

取り外し 29

W

Web カメラ

各部 3

交換 32

使用 13

操作 13

取り付け 32

取り外し 32

Windows Hello 13

あ

アースの方法 35

アクセスパネル

取り付け 16

取り外し 16

う

運搬時の注意 37

か

各部

モニター 3

き

キーボード

同期 14

け

警告および注意 15

こ

コンピューター操作のガイドライン 36

し

シリアル番号および製品番号の記載位置 4

せ

静電気対策、損傷の防止 35

セキュリティ ロック ケーブル 10

セットアップ 5

つ

追加情報 15

通気のガイドライン 36

て

電源への接続 9

電池

交換 26

と

取り付け

ガイドライン 15

な

内部部品 22

は

ハードディスク ドライブ

交換 27

取り外し 27

へ

ベースユニットの上面の各部 1

ベースユニットの側面の各部 2

ベースユニットの背面の各部 2

ま

マウス

同期 14

む

無線キーボードおよびマウスの同期 14

め

名称

FHD Web カメラ 4

IR Web カメラ 3

内部 22

ベースユニット 1, 2

メモリ

位置 24

仕様 23

取り付け 24

取り外し 24

も

モニター本体

前面の各部 3

調整 11

取り付け 5, 18

取り外し 18

ゆ

ユーザー サポート 38